2021年
9月号

ふれあいネットワーク
やめ社協だより

発行●社会福祉法人八女市社会福祉協議会（八女市社会福祉会館内）〒834-0031 八女市本町599番地

新型コロナウイルスに負けない!!
キッチンカー巡回子ども食堂が開催されました

8月21日(土)、おりなす八女駐車場において、八女市で子ども食堂や学習支援に取り組む「チャイルドサポートネットワーク」（下川京子代表）は「NPO法人全国こども食堂支援センターむすびえ」、「力の源ホールディングス一風堂」と連携し、小中高校生にラーメン約120杯を無料で提供しました。

当日は、八女市社会福祉協議会も運営に協力をさせていただきました。一風堂の赤いキッチンカーがやって来て、その場で熱々の美味しいラーメンが提供されました。コロナ禍ではありましたが、新型コロナウイルス感染症予防対策をしっかりと行いながら、子どもたちは一風堂の定番「とんこつラーメン」を楽しんでいました。

当日参加した子どもの皆さんからは、「できたてのラーメンを食べることができて、とても美味しかった」「キッチンカーが来てうれしかった」等の感想が寄せられました。

八女市社会福祉協議会では、今年度より八女市から委託を受けて、子ども食堂への支援（子どもの居場所づくり事業）をはじめ、支援ニーズの高い子どもを見守り支援につなげることができる体制づくりを行っています。

音声コードは活字文書読み上げ装置やスマートフォン等のアプリを使用し読み取ることができます。（※800文字）

市社会福祉協議会の取り組みをご紹介します

福祉サービスの
手続きが分からない…

必要な福祉サービス利用の手続きをお手伝いします

計画的にお金を
使いたいけれども、
うまくいかない…

金銭管理のお手伝いをします

通帳などを
しまった場所を
忘れてしまう…

安全な場所でお預かりします

この事業では、社会福祉法に基づいて、福祉サービスの利用手続きや日常的な金銭管理等のお手伝いをします。

八女市社会福祉協議会では７月末現在で１２６名（認知症４４名　知的障がい２９名　精神障がい５３名）の方を支援しており、利用者数は年々増加しています。

★どんな人が利用できますか？

認知症、知的障がい、精神障がい等により、自分一人で契約の判断に不安がある方やお金の管理に困っている方が利用できます。（※この事業を利用する意思があり、必要な契約内容について理解できる方が対象）

★どんなサービスがありますか？

❖福祉サービスの利用援助

- 福祉サービスに関する情報提供を行います。
- 福祉サービス利用または利用をやめるために必要な手続きのお手伝いをします。
- 福祉サービス利用料を支払う手続きを行います。

❖日常的な金銭の管理

- 銀行等に行って、日常生活に必要なお金の出し入れを支援します。
- 医療費や公共料金、家賃等の支払いや口座引落としの手続きを行います。

❖書類等のお預かり

- 預金通帳や印鑑等の大切な書類をお預かりし、貸金庫等できちんと保管します。

★費用はかかりますか？

相談から契約までは無料です。契約後は利用料がかかります。ただし、生活保護を受けている方は、すべて無料です。詳しくは下記までお問合わせ下さい。

ご本人やご家族、関係者の方等、どなたでも相談できます。
まずは、お気軽に社会福祉協議会までお問い合わせください。

問い合わせ先

福祉課地域福祉係　☏２３－０２９４

「日常生活自立支援事業」ってどんな事業？
あなたの暮らしの「あんしん」をお手伝いする事業です。

コロナ禍でもつながりを途切れさせない八女

八女地区ですすめる福祉委員活動

地域における福祉の課題は日々変わっています

新型コロナウイルス感染症の広がりによって、地域住民による地域福祉活動やボランティア活動は休止や延期等による活動自粛が増加し、閉じこもりによる高齢者の虚弱化の進行や社会的孤立の深刻さ等が浮き彫りになっています。

八女市社会福祉協議会では、コロナ禍でもつながりを途切れさせない取り組みの一つとして、福祉委員の活動を推進しています。今回は、八女地区ですすめる福祉委員活動についてご紹介させていただきます。

地域の現状

八女市は少子高齢化や過疎化により高齢化率も年々上がり、今は３５％を超えています。地域によっては４０％を超える地区もあり、認知症や孤立死等の問題も身近な問題となっています。加えて、コロナ禍により民生委員児童委員の活動をはじめ、サロン活動等地域で行われている福祉活動も自粛を余儀なくされ、地域のちょっとした変化に気づいていただく方が必要となってきています。

今、地域での問題や課題の中には・・・

認知症、虐待、孤立、生活困窮、ひきこもり をはじめ、２つの大きな壁があります。

①「意識」の壁（誰にも迷惑をかけたくない、自分には関係ない）

②「情報」の壁（必要な方に必要な情報が届いていない）

地域の問題と合わせてこの２つの大きな壁により、福祉問題を抱える方がなかなか表に出てきません。

この問題をみつけるには、福祉委員による見守りが大きな役割を果たします。

八女地区ですすめる福祉委員の活動（役割）

八女地区では日常生活の延長線上として、「地域のちょっとした変化」に気づいていただき、地元の民生委員児童委員さんにつないでいただければ充分です。

10月1日より赤い羽根共同募金運動が始まります

今年も10月1日から全国一斉に赤い羽根共同募金運動が実施されます。

共同募金運動は、社会福祉法に基づいて行われる民間の募金活動で、自分のまちで安心して暮らしていくために、様々な活動を支援する〝たすけあい〟の運動です。

集まった募金は、地域福祉の推進を目的として、八女市内の子どもたちや高齢者、障がい者を支えるために地域で活動を行う団体や事業等に活用されています。他にも、募金の一部を毎年、「災害等準備金」として積み立てており、災害発生時のボランティア活動を支援しています。

共同募金会八女市支会では、昨年に引き続き、八女市独自の募金推進の取り組みを行います。今年度も、八女市内の小中高校生及び障がい者支援施設の利用者の皆さんに、標語とイラストを募集しています。入賞作品は、募金資材（クリアファイルや携帯用消毒スプレー）に活用し、募金のお礼として配布する予定です。

皆さまのたすけあいの心とあたたかいご支援が、地域福祉を支える大きな助けになります。

今年度も皆さまのご協力をよろしくお願いします。

▲令和２年度街頭募金の様子

▲令和２年度作成したクリアファイル

●福祉団体活動報告

八女市在宅介護者の会「ひまわり」交流会が開催されました

7月29日㈭、八女市地域福祉センター（上陽）にて、八女市在宅介護者の会「ひまわり」の会員による交流会が開催されました。

当日は、特定非営利活動法人「KATTASIA（カッタエイジア）」江上氏をお招きし、自宅でできる簡単な体操を学びました。会員の皆さんからは「簡単な体操だったので、自宅でもしてみようと思います。リフレッシュになりました」。との声があがりました。

八女市在宅介護者の会「ひまわり」では、定例会を開催し、介護に関する悩みや相談ごとを話し、情報交換をしています。次回は、9月30日㈭に星野総合保健福祉センター「そよかぜ」にて交流会を予定しています。

在宅介護を通じて、「介護をしている仲間がほしい」「相談や情報交換をしたい」と思ったことはありませんか？

八女市在宅介護者の会「ひまわり」では会員を募集しています。興味のある方は、左記までご連絡ください。

●問い合わせ先
八女市社会福祉協議会
☎23－0294

●生活支援コーディネーター（地域支えあい推進員）報告　立花地区

辺春地区民生委員児童委員との買い物マップづくり

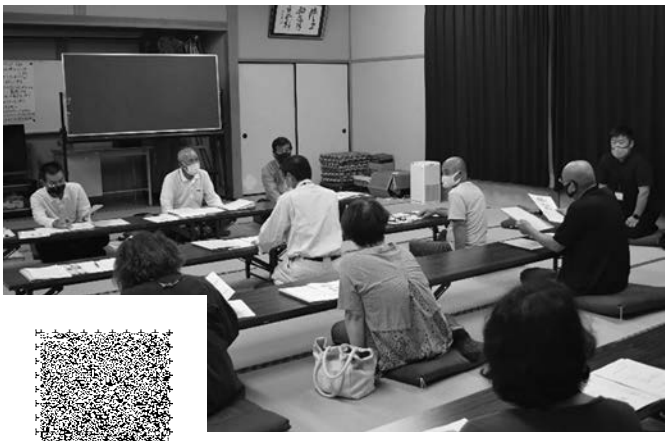
昨年度より、辺春地区における買い物に関する課題を解決するために、民生委員児童委員の皆さんと具体策について協議しています。意見交換を行うなかで、「買い物する店が少なくなっている。宅配車で食料品や日用品を届けてもらっている世帯がある」との情報がありましたので、辺春地区の配達地域の買い物マップを作成することになりました。地図を使って宅配車が来ている地域を把握していくと、辺春地区全域に配達に来ていることが分かりました。他にも宅配の課題として、「カタログで注文することは高齢になると難しくなるのではないか？」という声も上がりました。高齢になっても安心して買い物ができるようにするために、地域の皆さんと一緒に考え、課題解決に向けて取り組んでいきます。

立花地区福祉委員研修会を開催

立花地区では集うことが難しいコロナ禍だからこそ、地域のつながりを大切にしたいと考え、任期ごとに福祉委員研修会を開催しています。研修会では各行政区の役員会等に、生活支援コーディネーターが出向いて説明をしています。

参加いただいた福祉委員や行政区長、民生委員児童委員の皆さんからもコロナ禍の中で見守り活動が難しくなってきていること、その中でも工夫をして取り組んでいること等、多数のご意見をいただき、地域のつながりや仕組みづくりについて教えていただく機会となりました。

今後も身近な地域の中で人と人とがつながる支えあいのネットワークづくりを推進していきます。



●福祉生活支援室「ほっと館やめ」からのお知らせ

セブン-イレブンから商品寄贈を受けました

７月２６日(月)、株式会社セブン-イレブン・ジャパンから食品や雑貨等の寄贈を受けました。

この取り組みは、福岡県社会福祉協議会をとおして、セブン-イレブン店舗の閉店時等に発生する在庫商品の一部を生活困窮等の個人や世帯及び支援団体・施設に配分して、地域福祉活動の推進を図ることを目的とされています。

今後、フードバンク事業において、生活に困っていて支援を必要とする方に役立てていきます。ありがとうございました。

平和への祈りを込めた千羽鶴を贈りました

福祉生活支援室「ほっと館やめ」で軽作業の一つとして実施している折り鶴と、利用者が自宅で作られた折り鶴をつなぎ合わせて千羽鶴を作成しました。

フリースペース利用者によって丁寧に心を込めて繋ぎ合わせて作成していただいた二つの千羽鶴は、星野村で開催された「平和祈念式典」の数日前に、八女市役所星野支所に持参しました。一羽一羽に込められた平和を願う想いを受け取っていただきました。

９月～１０月の行事予定	精神対話士による無料相談会（※毎月第２土曜日・第４木曜日）
●９月２１日(火)　料理教室 １０：３０～　（※3密対策を十分にとります。新型コロナウイルス感染拡大の状況によっては中止になる可能性があります。） ●１０月９日(土)　笑福(えふ)クラブ親の会（不登校・ひきこもり親の会）定例会 １３：３０～	●面談日：９月３０日(木)　**※23日が祝日のため、30日に変更** １０月９日(土)　１３：３０～１５：３０ （※事前予約制となっております。下記までお電話ください。） ※新型コロナウイルス感染拡大の状況によっては中止になる可能性があります。

ほっと館やめ(上陽)より　～就労支援も行っています～

▲農業体験の様子

▲料理教室の様子

ほっと館やめには、仕事をしたいと思いながらも、自分で行動に移せない悩みを抱える方からの相談が増えています。今月号ではほっと館が取り組む就労支援の内容について、上陽地区の事例をもとにご紹介します。

ほっと館やめでは、就労に必要な他者とのコミュニケーションがある程度できるように、フリースペース内で簡単なパソコン講習や料理教室をはじめ、ほっとフレンドふぁーむでの野菜づくり等を体験していただき、履歴書の書き方や面接の練習等、就職するために必要な支援を行っています。

ある利用者の方はほっと館やめでの体験等を通じて、ハローワークにも自分で出かけられるようになり、希望する仕事先で面接を受け、見事合格されました。現在は元気に勤務されています。

もちろん、必ずうまくいっている事例ばかりではありませんが、これからも皆さまの思いに寄り添って支援していきたいと思います。

（※右記のＱＲコードよりほっと館やめホームページをご覧になれます。）

お問い合わせ
ほっと館やめ
☎23-7777　携帯090-6893-5701
メールアドレス：hottokan@road.ocn.ne.jp

ほっと館やめ（上陽）
☎24-9820　携帯090-7457-4053
メールアドレス：hottokanjyoyo@gaea.ocn.ne.jp

※ほっと館やめでは、✉メールでの相談も受付けています。お気軽にご活用ください。

令和３年度（第３２回）黒木町社会福祉大会中止のお知らせ

７月２８日㈬に開催しました、黒木町社会福祉大会実行委員会において、新型コロナウイルスの感染症拡大が懸念されるため、参加者及び関係者の健康と安全面を第一に考慮した結果、今年度も中止することになりました。

実行委員会では、黒木町の福祉活動の灯が今後も絶えぬよう、社会福祉大会に代わる方法で社会福祉を広げる活動を行う予定です。今後とも、ご参加とご協力の程お願い申しあげます。

地域献血のお知らせ

皆さまのあたたかいご協力をお願いします

〔献血の基準（400mℓ献血の場合）〕

- **年齢**：男性 17 ～ 69 歳　女性 18 ～ 69 歳
  ※ 65 歳以上の献血については、
  60 ～ 64 歳の間に献血経験がある方に限ります。
- **体重**：男女とも 50kg以上
- **新型コロナウイルスのＲＮＡワクチン（ファイザー社・武田／モデルナ社製）を接種した人は１回目、２回目いずれも接種後４８時間を経過していれば献血にご協力いただけます。**

●**忠見地区：１０月１８日（月）**
　会場：株式会社　熊谷光玉園
　10時～11時30分／12時30分～15時30分

●**岡山地区：１０月２５日（月）**
　会場：八女市室岡公民館
　10時～12時

●**川崎地区：１０月２５日（月）**
　会場：八女市東公民館
　14時～15時30分

●**お問い合わせ**：八女市献血推進協議会
（八女市社会福祉協議会内）☎23-0294

八女市社協ホームページをリニューアルしました

八女市社会福祉協議会では、この度ホームページをリニューアルしました。今回のリニューアルでは皆さんに、より見やすく、また情報を分かりやすくお伝えできるようにデザインや構成を大幅に変更しました。

今後も定期的に本会が開催する行事や情報を更新し、皆さんにとってわかりやすいホームページの運営に努めてまいりますので、ぜひ一度ご覧ください!!

ホームページのURLはこちらです

http://yamesyakyo.jp/

「生活支援ボランティア」養成講座を開催します

八女市社会福祉協議会では、ひとり暮らし高齢者等を対象に生活支援ボランティアを派遣し、日常生活のちょっとした困りごとへのお手伝いを現在行っています。「電球交換をしたいけど、自分ではできない」「買い物を手伝ってほしい」「布団を乾燥したいけど、自分１人ではできない」等といった困りごとをサポートする生活支援ボランティアを養成します。

●**日時**　令和３年９月２９日㈬　１４時～１５時

●**場所**　八女市社会福祉会館３階大会議室

●**内容**
①生活支援ボランティアの必要性について
②実際に活動しているボランティアとの意見交換会

●**対象**　ボランティアに興味のある方、どなたでもご参加ください。

●**申込**　八女市社会福祉協議会
☎２３－０２９４までご連絡ください。

伝わる安全、伝わる安心、防災ラジオ

八女市の防災等緊急情報はＦＭ八女【80.1ＭＨｚ】を通じて放送します。

リサイクル適性Ⓐ
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。
環境に配慮した植物性大豆インキを使用しています。

相談無料

9月 10月 各種相談のお知らせ

秘密厳守

開催日	社協本所 社会福祉会館 TEL２３－０２９４	立花支所 総合保健福祉センター(かがやき) TEL３７－００３６	黒木支所 地域交流センター(ふじの里) TEL４２－２１３１	上陽支所 地域福祉センター TEL５４－３００３
	心配ごと相談 第１・３・５水曜日 (13：30～16：00)	心配ごと相談 第２水曜日 (9：30～12：00)	心配ごと相談 第３水曜日 (9：30～12：00)	心配ごと相談 第４水曜日 (13：30～16：00)
9月	１・１５・２９日	８日	１５日	２２日
10月	６・２０日	１３日	２０日	２７日
	無料法律相談(要予約) 第２金曜日 (13：30～16：00)		無料法律相談(要予約) 第３金曜日 (13：30～16：00)	無料法律相談(要予約) 第４金曜日 (13：30～16：00)
9月	１０日		１７日	２４日
10月	８日		１５日	２２日
	司法書士相談 第３金曜日 (13：30～16：00)		司法書士相談 第２金曜日 (13：30～16：00)	
9月	１７日		１０日	
10月	１５日		８日	

相談窓口については、ご都合のよい会場へお越しください。

ご寄附ありがとうございました

令和３年7月16日～8月15日届

寄附金は、地域のサロンやボランティア活動等、地域の身近なところで行われる福祉活動に大切に使わせていただきます。

香典返し寄附

■社協本所受付分

○東矢原町　徳永トリエ　様
（亡夫　徳永與四郎　様）
○杉　町　吉田　清記　様
（亡母　吉田ミユキ　様）
○北田形　山本　治義　様
（亡父　山本　博人　様）
○宅間田　原口　保夫　様
（亡母　原口ヨシカ　様）

■上陽支所受付分

○上　名　小川スエ子　様
（亡夫　小川　勝好　様）
○木　浦　中村登士郎　様
（亡妻　中村ヒロミ　様）
○木　浦　松﨑　秀喜　様
（亡母　松﨑キヨミ　様）

■黒木支所受付分

○南木屋　内藤美千代　様
（亡夫　内藤　昭典　様）
○吹　原　大淵トミエ　様
（亡夫　大淵　孔兒　様）
○上　名　嶋　由利子　様
（亡父　森田　欣一　様）
○鹿子生　堤　和義　様
（亡子　堤　政昭　様）
○大　渕　樋本　武久　様
（亡母　樋本カネコ　様）
○西　今　小島えり子　様
（亡母　谷口サダメ　様）
○下本分　立野　節子　様
（亡夫　立野　陽一　様）

■立花支所受付分

○白　土　一ノ瀬明美　様
（亡夫　一ノ瀬和雄　様）
○仁　合　古賀　敏美　様
（亡夫　古賀　明　様）

■矢部支所受付分

○中　間　原島　和浩　様
（亡義母　松尾キクヨ　様）

一般寄附

○上北本分　城後ナオ子　様

物品寄附

○明治安田生命保険相互会社
久留米支社八女営業所　様
フリーズドライ
ビスケット(24箱入×4)　3ケース
水(12本入)　10ケース

本会へのご寄附は、確定申告をされることにより、税額控除が受けられます。

「やめ社協だより」は、赤い羽根共同募金の配分金を受けて発行しています。